

分 か る と 快 感 !

# Z会ナビ

算数 ▶ 理科 歴史 地理

お題

## トンネルの上にあるのは…?

「Z会ナビ」が

Webサイト

でも読めます!



Z会おとナビ新聞

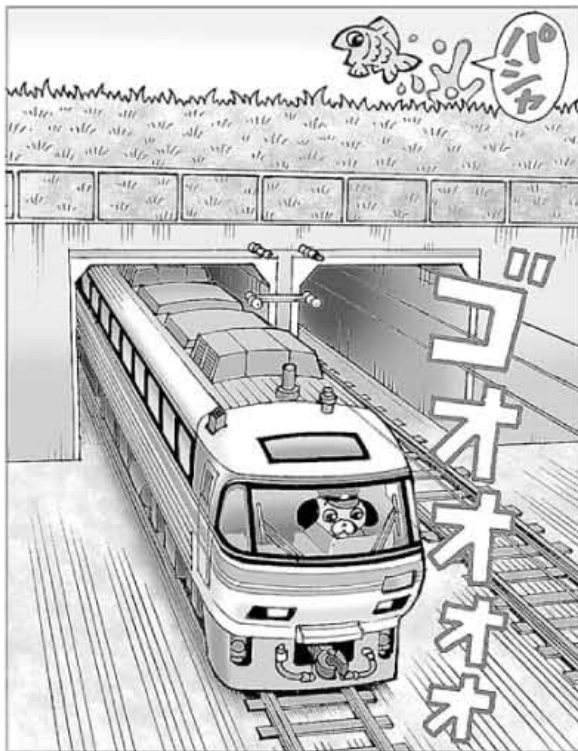
検索

これまでの内容も掲載しています!

これは、滋賀県にある琵琶湖の近くでさつえいした写真です。電車が通りぬけるトンネルの上には、何があるのでしょうか?



- ① 別の線路
- ② 道路
- ③ 川のあと



イラスト・瑞木匠



上の写真の左側にあるのが、草津川の堤防です。家よりもずっと高いことがわかりますね。

### 川がはらんすると危険!

川が家より高いところを流れていると、大雨が降ったときに、堤防から水があふれたり堤防がこわれたりして家が水びたしになるなど、大きな被害が出てしまいます。草津川も、梅雨や台風の雨によって、何度もはらんしました。このような被害を防ぐため、十数年前に、水が別の低いところを流れるように、川の工事が行われました。

【Z会・小澤碧】

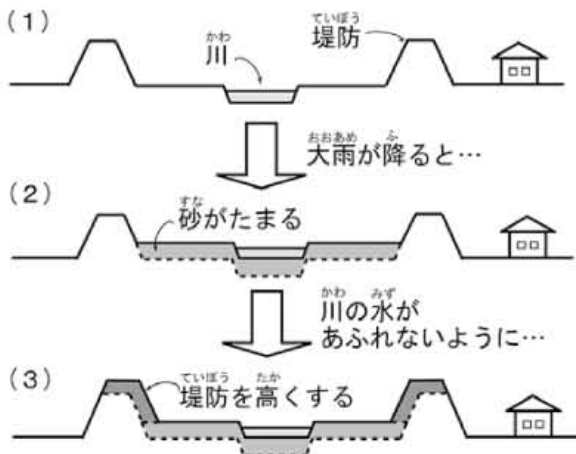
#### ! 今回の教訓

草津川のように、砂がたまって、まわりの地面よりも高くなった川は、天井川とよばれています。天井川は、川が砂を運び、人が堤防を高くしたことによってできました。



小澤碧さん 2010年Z会入社。理科の教材編集を担当。理学博士。クラシック音楽と水泳と物理学をこよなく愛する。1982年京都市生まれ。

### 草津川の歴史



## 川と堤防の関係

もともと草津川は、まわりの地面より低いところを流れていました(1)。しかし、大雨が降ると、川の上流から流れてきた砂が川底にたまって、川は少し高いところを流れるようになりました(2)。人々は、川の水があふれないように、堤防を少し高くしました(3)。その後、(2)と(3)を何度もくり返した結果、川や堤防は、どんどん高くなってしまったのです。